



道 標

みち

しるべ

2013/11/1

NO. 64

〈編集・発行〉

東中3年

進路指導部

《体験入学・見学情報》

◎大同大大同高校(私立)

- ◆日時 12/7(土) 9:00~12:00
- ◆内容 授業体験
- ◆申込期限 11/21(木)まで

◎享栄高校(私立)

- ◆日時 12/7(土) 9:00~ 10:00~
- ◆内容 学校説明会
- ◆申込期限 11/21(木)まで

《体験入学感想》

市立北高校

グラウンドが広くてスポーツなどがしやすいなと思いました。親切な先輩が沢山いて質問をたくさんすることができました。部活動などにも力を入れており、沢山の種類がありました。しかし、学校に行くまでに時間が大変かかってしまうため、1つの問題点だと思いました。(E組 Oくん)

瀬戸西高校

私はいずれライバルとなるかもしれない人たちに会いました。私は最初、スカートを少し短くしていたし、そでのホックもしめていなくて、周りを見たとき、そんな人はいなくて、とても恥ずかしくなりました。なので、すぐに直したけど、他の人を見て直すなんて、受験生として情けないなと思いました。また、高校の紹介のビデオを見たとき、行事がすごく楽しそうだったし、行ってみたいという気持ちが大きくなりました。(G組 Mさん)



私の進路選択

みんなが進路で真剣に悩む時期に入ってきました。しかし、これは誰でも通る道。周りの大人も体験したのです。そこで、先生たちの体験や思いを連載していきます。

まず初回は、進路担当の岩下です。

部活中心の生活が終わり、1ヶ月間くらいどうすればいいのかわからず、ボーッとしていました。

そんな中、「鉄道員」「教師」「警察官」「漁師」など、就きたい職業を考えました。そして、鉄道学校に行きたいと思い、県外受験を考えたり、栽培漁業を学ぶ学校に進学したいとも思いました。その頃は、体験入学などはありませんでしたから、自分で本屋に行って情報を集めました。

集めた情報をもとに、自分の進路について親にも相談し、対立した覚えがあります。

でも、今思えば、その相談が進路の出発点だったと思います。

今、みんなは実際に希望校に行って、雰囲気を感じるチャンスがあります。そして、親と一緒に話すチャンスももちろんあります。

しかし、恥ずかしくてなかなか親に本心をぶつけることができない人もいるかもしれません。

メールや携帯電話での意思疎通ではなく、まずは、目を見て、親と話すことが進むべき路を考える第一歩かもしれないと感じます。

まずは将来の夢を描くことを一番大切にしてくださいね。

次回は、どの先生でしょうか？
お楽しみに！

